



CHAPTER 1

Cisco Unity Connection でのユニファイドメッセージングの概要

Cisco Unity Connection では、ユニファイドメッセージングという名前のもとに、いくつかの既存の機能と新しい機能を集めました。これらの機能には、次のものがあります。

- Connection メールボックスと Exchange メールボックスとのボイス メッセージの同期（別名、シングル インボックス。Connection の新機能）
- テキスト/スピーチ（TTS）による Exchange メールへのアクセス
- 電話によるミーティング関連のタスクの実行が許可されている Exchange の予定表へのアクセス（たとえば、今後の会議のリストを聞いたり、会議への招待を受け入れたり却下することが可能）
- 連絡先をインポートし、連絡先の情報を個人のコール転送ルールに使用したり、ボイス コマンドを使用して電話をかける際に使用することが可能な Exchange の連絡先へのアクセス
- 今後の電話での Cisco Unified MeetingPlace 会議の通知
- MeetingPlace 会議のスケジューリング、および会議への参加
- Connection ボイス メッセージの音声テキスト変換（SpeechView）

このマニュアルは、ユニファイドメッセージング機能の設定方法、およびシングル インボックスについて、サーバ間での Exchange メールボックスの移動方法と Exchange メールボックスの復元方法について説明します。

SpeechView の詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』（Release 9.x）の「[Configuring Transcription \(SpeechView\) in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。このガイドは、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html から入手可能です。

Cisco Unity Connection では、ユニファイドメッセージングという名前のもとに、いくつかの既存の機能と新しい機能を集めました。これらの機能には、次のものがあります。

- Connection と Office 365 のメールボックスでのボイス メッセージの同期（シングル インボックスとも呼ばれます）
- テキスト/スピーチ（TTS）による Office 365 電子メールへのアクセス
- 電話によるミーティング関連のタスクの実行が許可されている Office 365 の予定表へのアクセス（たとえば、今後の会議のリストを聞いたり、会議への招待を受け入れたり却下することが可能）
- 連絡先をインポートし、連絡先の情報を個人のコール転送ルールに使用したり、ボイス コマンドを使用して電話をかける際に使用することが可能な Office 365 の連絡先へのアクセス

